令和○年(フ)第○号

**損害賠償請求権の査定申立書**

令和○年○月○日

○地方裁判所第○民事部　御中

申立人　破産者○

破産管財人　○

当事者の表示 別紙当事者目録（省略）記載のとおり

**第１　申立ての趣旨**

１　相手方が、○したことにより発生した、破産者○株式会社の相手方に対する損害賠償請求権の額を金○万○円と査定する。

２　申立費用は相手方の負担とする。

との決定を求める。

**第２　申立ての理由**

１　当事者

破産者○株式会社（以下「破産会社」という。）は、令和○年○月○日、○地方裁判所に破産手続開始の申立てを行い、同月○日午後○時、破産手続開始決定を受け、同時に申立人が破産管財人に選任された。

相手方は、令和○年○月○日の設立当初から破産手続開始申立てまでの間、破産会社の代表取締役であった。

２　相手方に対する損害賠償請求権

…

相手方には代表取締役として善管注意義務があり、かかる○をすることは、善管注意義務に違反しており、役員として破産会社に対する損害賠償責任を負う（会社法４２３条１項）。

３　まとめ

よって、申立人は、相手方に対し、申立ての趣旨記載の査定を求めるため、本申立てをする。

以 上

**証拠方法**

証拠説明書のとおり

**添付書類**

（省略）